

科目ナンバリング		U-LAS01 20020 LJ38							
授業科目名 <英訳>		日本史各論（戦国・織豊期の公家と武家） Topics in Japanese History (A Court Noble and a Samurai Family of the Sengoku and Syokuho Periods)				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 尾下 成敏	
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	歴史・文明(各論)			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	金1		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
歴史学とは、どのような学問であるのかを理解することを目的とし、そのための具体例として、日本の中近世移行期（15世紀半ば～17世紀半ば）の政治史・文化史を学ぶ。今年度は蹴鞠に見る公家と武家の交流を基軸に据え、最新の学界動向を踏まえながら、講義を進める予定である。									
[到達目標]									
日本の中近世移行期（15世紀半ば～17世紀半ば）の政治史・文化史の展開を正確に理解する。									
[授業計画と内容]									
1 イントロダクション、蹴鞠とは？（1） 2 蹴鞠とは？（2） 3 日本蹴鞠史概論（1） 4 日本蹴鞠史概論（2） 5 日本蹴鞠史概論（3） 6 日本蹴鞠史概論（4） 7 日本蹴鞠史概論（5） 8 16世紀京都の蹴鞠史—公家と武家の交流—（1） 9 16世紀京都の蹴鞠史—公家と武家の交流—（2） 10 16世紀京都の蹴鞠史—公家と武家の交流—（3） 11 16世紀京都の蹴鞠史—公家と武家の交流—（4） 12 16世紀京都の蹴鞠史—公家と武家の交流—（5） 13 16世紀の文化・芸能と蹴鞠 14 蹴鞠史研究の課題 < 定期試験 > 15 フィードバック									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
・成績評価は、定期試験（筆記・論述）と平常点（コメントシート提出）をもっておこなう。配点比率は、定期試験80％、平常点20％。									
----- 日本史各論（戦国・織豊期の公家と武家）(2)へ続く↓↓↓									

日本史各論（戦国・織豊期の公家と武家）(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

・授業前：１）高校日本史の教科書や学習参考書のほか、『天皇の歴史』（講談社学術文庫）、末柄豊『戦国時代の天皇』（山川出版社）などを読むことが望ましい。２）蹴鞠の動画がyoutubeにアップされているので、是非見てほしい。
・授業後：ノートを整理し、授業の内容を振り返ることが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

高校程度の日本史の理解を前提に講義を進めるので、高校で日本史を履修していない者は、教科書もしくは学習参考書の当該部分に、目を通しておくことが望ましい。

[主要授業科目（学部・学科名）]